

派遣先所属 福島県商工労働部経営金融課  
氏 名 須藤 裕貴 (すどう ゆうき)  
派遣期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

## 1 派遣業務の内容、現況

派遣先の経営金融課では主に3つの業務を行っています。一つ目が商工会等の商工団体や福島相双復興官民合同チームその他の関係団体との連絡調整を行う業務、二つ目に資金融資や金融相談を行う業務、三つ目には東日本大震災や東日本台風、令和3年・令和4年の福島県沖地震によって被災した事業者に対する補助金交付に関する業務を行っています。

三つ目の業務については、経営金融課分室として県庁舎から離れたチェンバおおまちビルに居しており、福島県職員10人、会計年度任用職員9人、人材派遣10人、東京都からの派遣職員1人が業務に従事しています。

担当業務は東日本大震災に係る「中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業」（以下「グループ補助金」）の財産処分、及び「福島県原子力被災事業者事業再開等支援補助金」（以下「事業再開補助金」）の公募・審査・交付決定・制度設計・財産処分、「福島県創業促進・企業誘致に向けた設備投資等支援補助金」（以下「創業補助金」）の審査となっています。

グループ補助金は、東日本大震災で被害を受けた中小企業がグループを作り、県の認定を受けることで、被害を受けた施設・設備の原状復旧に要する経費を補助（補助率3/4）するものです。補助を受けた施設・設備は処分制限期間が設けられており、期間内に取り壊しや譲渡、担保権設定等の処分をする場合は知事の承認が必要となり、補助金の返納が生じることがあります。東日本大震災から11年が経過し、新規申請は年に1～2件となっていますが、一方で補助をうけた事業者が廃業したり、施設を取り壊したりする事例が増え、その対応を行っています。毎年、数十件の新規案件が生じ、返納金の調定額も数百万円から数千万円程度となっています。財産処分は、補助金の適正な執行という意味で重要な業務であるとともに、ときには資金繰りの厳しい事業者から補助金の返納を求めるとこともある難しい面もあります。

事業再開補助金は、原子力災害で被災した12市町村（田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村）で東日本大震災当時に営業していた事業者が、事業再開や事業展開をするための施設や設備に要する経費を補助（対象経費限度額1,000万円、3,000万円、4,000万円・補助率1/3、3/4、4/5）するものです。平成28年の事業初年度からの累計で1181件・約109億円の事業者を支援してきました。なお、申請事業者は、復興が進むにつれて減少しており、令和4年の交付決定は、44件・約6.5億円となっています。

さまざまな事業内容の申請が来ることから審査に当たっては、難しいところもありますが、新たなことを知れるという面で多くの学びもあります。残念ながら廃業等により財産処分を行うことになる事業者もいますが、補助を受けた事業者が営業することで12市町村の復興・生業再建

に繋がってほしいと切に思っています。

創業補助金は、事業再開補助金の対象事業者以外の事業者に対して12市町村内で創業や事業展開するために要する経費を補助(対象経費限度額1,000万円、3,000万円・補助率2/3、3/4)するものです。平成28年度の事業初年度からの累計は、96件・4.8億円となっています。創業補助金は、12市町村内という事業環境の厳しい地域にあらたな事業者を生み出すというものであり、事業者が増えることを通じて復興の礎になってほしいと感じています。

## 2 被災地の復旧・復興の状況

福島県は地震・津波被災地域であるとともに原子力災害の被災地でもあります。このため、放射線量が高い地域では、長期にわたり立入りが制限され、復興に大幅な遅れが出ています。原子力災害の被災地である12市町村の中でも、避難指示の解除時期により復興状況に大きな差が出ています。

一方で、令和4年6月に葛尾村や双葉町、大熊町の一部で制限が解除されました。双葉町では、いまだ地震で倒壊したままの家屋がありましたが、急速に撤去が進み、町役場もJR双葉駅前に帰還するなど、復興が進んだと感じた年でもありました。

まだまだ復興はこれからという面や被災地の環境の厳しさ、以前として避難指示が解除されていない地域もありますが、解除された地域では着実に復興が進んでおり、活気のあるまちになってほしいと思います。

## 3 被災地へ派遣となって感じたこと

福島県に派遣となり、埼玉県とは違う組織で働くことは、貴重な経験となっています。また、福島県職員の方やほかの派遣職員との交流を通じていろいろなことを学んでいます。

福島県は、非常に大きく、山々や海など多様な自然と地域ごとの特色のある文化があります。1年間ですべては回れませんが、なるべくいろいろな地域や観光スポットを訪れていきたいと考えています。



(相馬野馬追)



(前沢曲家集落)